

## 第57回 愛育班長研会 開催報告

平成30年7月4・5・6日の3日間、参加者4名(埼玉県加須市、香川県まんのう町、大分県竹田市2名)で実施しました。

1日目は、参加者から「わが町の愛育班活動」の紹介や情報交換を行いました。また、昭和44年に開催された第1回愛育班員全国大会の総裁表彰受賞者である『矢崎きみよ』氏を取り上げた番組「日本を動かした白根の偉人伝」で愛育班活動の歴史を学び、活動への想いを共有しました。2日目は、埼玉県吉見町保健センターでの実地研修です。吉見町母子愛育会の『子育て支援事業体験』として手形・おもちゃ引き・魚つりやおまんじゅう作りを行いました。



吉見町母子愛育会『子育て支援事業』(手形・おもちゃ引き・さかなつり等)の体験をしました。

実習の帰りは、エビスビール記念館見学も楽しみました。

3日目は、本会愛育病院山口規容子名誉院長の講義「最近の育児をとりまく環境と育児支援の取組み」で愛着の重要性を再確認し、その後山田愛育推進部長を交え、今後の愛育班活動について話し合いました。

日本各地の愛育班員と交流しながら、愛育班活動のアイデアや工夫、また悩みや課題も共有できました。

研修終了後、早速に研修の成果を活かしたと参加者から報告がありました。班長等にかかわらず愛育班員であれば、どなたでも参加できますのでお待ちしております。



埼玉県・吉見町母子愛育会・吉見町健康推進課の方々との記念撮影

### <班長研修会参加者の声>

- 東西南北地区の特性を活かした活動、チームワークよく楽しそうな姿、行政との緊密な連携、活動の様々なアイデアや工夫を学び、深く感銘を受けました。
- もっと前に受けていたらと思いますが、これからでもできることがあります。
- 今回の参加で、いろいろ気づかされ活動で早速やってみたいことができました。

### <終了後の研修会参加者からの報告>

- 少子化で高齢者向けの活動が多い状況でしたが、研修の学びを活かし、愛育班会議で「親子事業を考えよう」と話し合いました。
- 「班長研修が楽しかった」と話すと「イキイキして、若くなったね」と言われました。

## 第57回 愛育班組織育成者研修会 開催報告

平成30年8月29・30・31日の3日間、参加者11名(秋田県潟上市、群馬県嬬恋村、埼玉県三郷市・入間市・白岡市、山梨県甲府市・北杜市、香川県まんのう町、大分県国東市・豊後大野市・北部保健所豊後高田保健部)で実施しました。

1日目は、参加者の自治体の愛育班活動の紹介や課題を出し合うことで、現状を共有しました。2日目は、山梨県南アルプス市の実施研修です。南アルプス市愛育会の皆様のおもてなし、チームワークよい役割分担や熱意ある活動に感激し、市健康増進課との連携のす



南アルプス市愛育会の方々や愛育会館「矢崎きみよ」氏銅像前にて

ばらしさにも感じました。愛育会館では、長い間、貴重な資料を守ってきたご苦労と心意気を肌で感じました。“継続は力なり”を目の当たりにし、保健師としてパワーアップしたように思います。3日目は、活性化の講義や地区診断演習GWと盛りだくさんの内容です。

保健師同士の学びも大きいので、参加しやすく3日間の研修としましたので、ぜひご参加ください。

### <南アルプス市実施研修に参加しての声>

- 愛育班員さんが日頃感じていることが自由に出せるように、自分なりに努力してみようと思いました。
- 班員さん達が意見を出すことで、自由なアイデアが生まれ、「大変なこともあるけれど楽しい、やってよかった」という思いにつながる・・・と思えるようになりました。
- “矢崎きみよ”さんという類まれなリーダーがいらっしゃったとはいえ、戦前の苦しい時代から価値観の多様化した現在まで活動が継続してきたのは、住民の方々が主役である活動、地域に住んでいる人たちによる地域のための活動であったからこそ、ではないかと思いました。
- 愛育班活動を支えた行政の事務職の方、保健師さん方の深い理解が、人事異動があってもつながってきたのは、すばらしいと思いました。